

# 都市計画たより

---

令和3年度版



岡崎市 QURUWA 地区 籠田公園

## 目次

はじめに	1
令和3年度 都市計画検討グループの活動内容	1
令和3年度 都市計画検討グループ総会 報告	2
令和3年度 第31回 建設コンサルタンツ協会業務技術発表会 報告	3
令和3年度 都市計画検討グループ WG活動報告	4
・都市整備WG	4
・交通WG	6
・ランドスケープWG	8
■参考1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）	10
■参考2：令和3年度 都市計画検討グループ会員及び各企画参加人数（会社数）	11
おわりに	11

【表紙写真】

撮影：都市計画副委員長 岡部

## はじめに

平素から、都市計画検討グループ活動に対してご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

今年度の都市計画検討グループでは、4月から会員の募集や、都市計画委員会の活動が始まり、7月の都市計画検討グループ総会（WEB 配信）、10月からの各ワーキング（以下WG）企画に対し、コロナ禍の中、また業務ご多忙の中、多くの会員の皆様にご参加いただきました。

会員の皆様のご協力・ご参加により、令和3年度の活動も無事終了しましたこと心より感謝しております。また、都市計画委員の皆様におかれましては、コロナ禍で活動方法が制限される中、創意工夫していただくことで各ワーキング企画を実現いただき、本当にありがとうございました。

今年度の講習会や見学会などの活動した内容を「都市計画たより」としてとりまとめましたので、ご高覧いただくとともに、来年度の活動の参考としていただき、ご意見等いただければ幸いです。

来年度も、皆様からの要望を踏まえて、「仕事の役に立つ魅力的な企画」を検討していきます。奮ってのご参加をお待ちしておりますので、引き続き、ご理解・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

都市計画委員長 河村和紀

## 令和3年度 都市計画検討グループの活動内容

---

令和3年度は、下記の通り「会員参加型企画」及び「委員会活動」を実施しました。

### 1. 会員参加型企画

- 総会（7/20） : 98名（25社）・・・P.2
- 都市整備WG講習会（11/9） : 52名（16社）・・・P.4
- 交通WG講習・見学会（11/30） : 15名（11社）・・・P.6
- ランドスケープWG講習・見学会（10/28） : 39名（13社）・・・P.8

### 2. 委員会活動

- 業務技術発表会運営（10月）
- 愛知県震災復興都市計画模擬訓練：アドバイザー派遣（10月・11月）
- 発注者意見交換会（12月）
- 建設技術フェア2021in中部 学生交流ひろば対応（12月）
- 都市計画委員会：毎月開催：（全9回、4月～12月）

# 令和3年度 都市計画検討グループ総会 報告

## I. 開催日程等

日付：令和3年7月20日（火）  
場所：建コン中部支部事務局（WEB配信）  
参加者：98名 25社

## II. 総会の概要

- |  |           |
|--|-----------|
| 1. 開会  | 【市川副委員長】  |
| 2. 技術部会長挨拶   | 【上村技術部会長】 |
| 3. 令和3年度都市計画委員の紹介  | 【河村委員長】   |
| 4. 令和2年度活動報告と令和3年度活動計画（案）  | 【河村委員長】   |
| 5. 令和3年度WG活動方針（案）  | 【各委員】     |
| 6. 令和2年度決算報告と令和3年度予算（案）の説明                                       | 【岡部副委員長】  |
| 7. 講演会 『アフターコロナにおける新たな暮らし方とこれからの都市政策』<br>名古屋学院大学 現代社会学部教授 井澤知旦 氏 |           |
| 8. 閉会  | 【河村委員長】   |

### 令和3年度の活動計画

**テーマ**：都市計画を取り巻く動き、新しい情報の提供  
**活動方法**：WG活動を主体にニーズに対応した見学会、講習会等の開催と交流の深化  
**合同WG**：複数のWGや他の技術検討グループとの合同開催

都市計画検討グループの目的は「技術研鑽」と「技術者相互の交流」です。技術の研鑽を目標にして各グループ部員が集まり、お互いの交流の輪が広がる場づくり、学識経験者、官公庁、他の団体とも積極的に交流の場づくりができるように進めていきます。

令和3年度は、コロナ禍の影響を受け、WEB講習会などのニューノーマルに対応した活動形式も積極的に取り入れた活動計画を立案し、社会貢献活動にもコロナ禍の状況を勘案して適切に対応していきます。

### 令和3年度の各WG別会員数

都市整備WG	：111名（99名）12名増	
交通WG	：64名（50名）14名増	
ランドスケープWG	：59名（47名）12名増	
合計	：234名（196名）38名増	※（）は令和2年度の会員数

## 令和3年度 第31回 建設コンサルタンツ協会業務技術発表会 報告

10月8日（金）に「ウインクあいち」にて業務技術発表会を開催しました。今年度も、コロナ禍の影響を勘案し、聴講者なしで発表会を行ったため、建設コンサルタンツ協会中部支部のホームページに動画をアップし、会員に配信しました。（CPDの発行も行いました。）

業務技術部門では、都市計画分野として5編の発表がありました。そのうち、2編が最優秀賞を受賞されました。

### ◆ 優秀賞

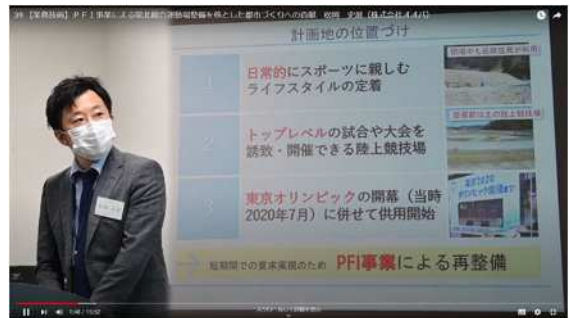
- PFI事業による龍北総合運動場整備を核とした都市づくりへの貢献

株式会社 オオバ

松岡 史展 氏



【発表の様子】



【動画配信】

- 官民連携によるエリアマネジメントの仕組みづくりと実践について

大日コンサルタンツ株式会社

國島 昌徳 氏



【発表の様子】



【動画配信】

### ◆ 発表論文

- シンボルとして再生を目指す水の広場のリニューアル設計

中央コンサルタンツ株式会社 朝日翔太 氏

- 「近鉄四日市駅バスターミナル整備事業」から見る交通結節点整備の多角化

株式会社建設技術研究所 小川明人 氏

- しずおか MaaS への ETC2.0 データ活用

パシフィックコンサルタンツ株式会社 高村真一 氏

来年度は、10月21日（金）「ウインクあいち」にて開催予定です。4月から応募依頼開始します。奮ってのご参加お待ちしております。

## 都市整備WG

### I. 開催日程等

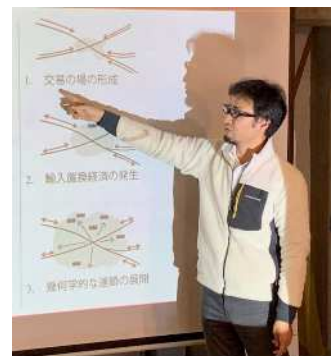
日 時：令和3年 11月9日（火） 15：00～17：00

講演方式：WEB

テーマ：活力のある都市をつくる

講 師：岐阜大学 社会システム経営学環教授 出村 嘉史 氏

参加者：52名（16社）



### II. 活動概要

多くの地方都市で「まちを面白くする」取り組みが試行錯誤され、加えて新型コロナウイルス感染症の影響が懸念される中で、都市空間の価値をいかに高め、人々が集う場をいかに創り出すかという命題が改めて顕在化しています。都市の形成過程を踏まえ、次代につながるまちづくりの「解」を見出そうとする動きも念頭に置きつつ、これからの都市さらには、まちづくりを生業とする建設コンサルタントは、今後どうあるべきかを考えました。

本講演会は、建設コンサルタントが日常業務で「活力」を意識すべき場合に、「活力を創り出すことができない、なぜ」について、都市形成史・景観計画を専門とされる、岐阜大学の出村 嘉史教授に講師をお願いしました。

岐阜市柳ヶ瀬地区の実践例として出村教授自らが多くの仲間の協力で立ち上げた「美殿町ラボ」や SUNDAY BUILDING MARKET など、「柳ヶ瀬を楽しいまちにする株式会社」の多彩かつ実践的な取り組みを紹介いただき、国内外の地方都市の形成経緯を実証的に明らかにする中から、「活力のみなぎる都市空間の持続性が増すように都市計画が整理する～コモングの悲劇は、コモングのないところに怒らない～」ことを中心に、市街地を魅力的にすることと連携して地域を豊かにすることについて、多くの示唆・提言を頂きました。

参加者アンケートでは、回答者の95%が満足、やや満足



#### 感想（抜粋）

- 都市の成り立ちの中での、「市」の機能、まちなかだからその部分である点は非常に共感できました。
- 住み分けの中で必要なものをうまく整理していくことが今後さらに重要であると感じました。
- 大学で学ばなかった分野で新しく知る単語ばかりであったが、非常に興味がある内容であった。 他

▲リモート講演・参加者アンケートの抜粋

出村 嘉史 氏▶  
講習会 より

#### 活力のある都市をつくるために、仕組みからデザインする

- 民間主導、公民連携が鍵
  - ✓ 成長時代のやり方を続けてはならない。
  - ✓ 行政も民間も、これからのしくみづくりにとらむべき。
  - ✓ 民間主導のものに行政が参加するがたち。
- 魅力的なエリアを創造、フォーカスは「人」
  - ✓ やりがいのある仕事を創る
  - ✓ 人材を集めて育てる
  - ✓ 暮らしやすいライフスタイルを生み出す
  - ✓ エリアのビジョンを描いて共有する



## ●今後、都市整備ワーキング講習会で取り上げて欲しいテーマ【アンケート】

- 都市再生の取組み事例（中京圏に限らず）
- コンパクトシティと言葉では聞くものの、あまり実感、実態がないため、そういった方面に明るい方から生の声が聴ければ嬉しいです。
- 地方都市（中山間地域も含む）の活性化について ※立地適正化計画では対象とならないような、小さな拠点？の成功事例などを聞きたいです。
- 特に思い浮かぶものが出てきませんが、具体的な地名・箇所などがわかるテーマはリアリティーがあって興味も増えると思いました。
- コロナの影響を踏まえた今後の都市の在り方 ・都市計画に関わる最近の動向や事例、トピック紹介
- 自動運転と都市計画
- アフターコロナでデジタル化が進み、人と人との実際の関わりが減る未来での都市について
- 名古屋のテレビ塔周辺や名駅周辺の整備については興味のあるところです。
- 3D 都市モデルの具体的な活用方法や事例紹介など
- 今回のような実践されている方の意見が聞けるといいと思います。
- 質疑応答で話題に出ていた、大日コンサルタントさんの「みとか農園」について詳しく伺う機会があれば幸いです。
- 岐阜県富加町などのように、都市でもなく、また、過疎でもない自治体の、これからの都市整備・都市計画について
- 区画整理事業に携わっていますが、今後区画整理の規模現象が見込まれているため、区画整理の今後や技術を活かした新規領域について学びたいです。今回の都市再生に関わるテーマもとても興味深く面白かったです。ありがとうございました。
- 学生とのコラボ企画  
形式：講習会・現地見学会＋討論会  
目的 ①：まちづくりについて、学生の考えを知る  
②：お互いの思考にイノベーションを起こす  
③：学生に建コン（の魅力）を知ってもらう
- 地方都市と中山間地の間くらいの規模の都市の事例
- ユニバーサルデザイン、インクルーシブといったハード面に加え、ソフト面での多様性も含めたまちづくりとの相関について先進の事例等があればお聞きしたいです。
- 官民連携によるまちづくりの取組み、いろいろ
- こうした都市計画に関する勉強会をして頂きたい。

## 交通WG

### I. 開催日程等

日 時：令和3年11月30日（火）14:00～17:00

場 所：岡崎市 QURUWA 地区

テ ー マ：「ウォークブル先進都市」である  
岡崎市 QURUWA 地区の現地見学会・講習会

講 師：岡崎市都市政策部都市施設課 QURUWA 戦略係  
中川健太 係長

内 容：1. 講演（中川係長）  
2. 現地見学会

参加者：15名（11社）



▲中川健太係長

### II. 活動概要

現在、人口減少や少子高齢化が進み、商店街のシャッター街化などによる地域の活力の低下が懸念される中、都市の魅力向上させ、まちなかににぎわいを創出することが、多くの都市に共通して求められています。

また、新型コロナ危機を契機として、感染拡大防止と社会経済活動の両立を図る新しいまちづくりが必要とされ、密にならない屋外公共空間を利活用するニーズが高まってきています。

こうした中、官民のパブリック空間（街路、公園、広場、民有空間等）をウォークブルな人中心の空間へ転換し、民間投資と共鳴しながら「居心地がよく歩きたくなる」まちなかを形成し、多様な人々の出会い・交流を通じたイノベーションの創出や人中心の豊かな生活の実現を目指す取り組みが全国各地で進められています。

こうした時代の潮流や会員皆様の興味あるテーマ（都市計画委員会 Web アンケート調査結果より）、近年の交通 WG 活動実績等を踏まえ、国が募集を進める「ウォークブル推進都市」として、ウォークブルなまちづくりを積極的に進める愛知県岡崎市 QURUWA 地区を視察先とし、将来ビジョンの描き方や具体的なまちづくりの進め方等を学ぶ見学会・講習会を開催することにいたしました。

講演では、QURUWA 地区の整備に 10 年間取り組んでこられた中川係長を講師にお招きし、QURUWA 地区の概要や特徴のほか、整備にあたっての苦労話など、公務員の枠を超えた取り組みについてご説明いただきました。また、事前に参加者から提出いただいた質問に対し、丁寧にご回答いただきました。

現地見学会では、籠田公園、リノベーション店舗、桜城橋など、公共・民間の双方がイノベーションした施設や空間を順に見て回り、講演でご紹介いただいた内容について、改めて実物を見ながら実感することができました。

特に、ストリートファニチャーの設置による憩い空間、未活用空間への木製ベンチの設置による休憩空間、公園・川と一体になった魅力的な歩行空間、地域のシンボルとなる人道橋などは、非常に価値ある交通空間であり、我々交通 WG のメンバーとしては、とても勉強になるものでした。

現地を見学する中で、新しいことにチャレンジして実現していく中川係長のバイタリティーや、将来の使い方をきちんとイメージしたプランニング力にとっても感銘を受けました。様々なハードルにぶつかり、大変な思いをされたであろうことは想像に難くありません。それらを乗り越えて作り上げた QURUWA 地区は、歩いて回りたくなる、非常に魅力的な空間でした。



▲講演会の実施風景

### 講演会の質疑応答

- ①道路舗装（景観舗装）施工後の市民の評価を教えてください。
  - これまで、舗装に関する定量的な評価は行っていない。
- ②回遊動線 QURUWA の回遊状況や周辺商店等への波及効果はどのように変化しましたか？
  - これも定量的な分析は行っていないが、回遊行動や商店街の売上は増加していると感じられる。
- ③ウォークブルシティとして、今後、どのような事業や活動を展開されますか？
  - 講演の中で説明したが、引き続き展開を進める予定である。  
→来年度、QURUWA 戦略を更新予定 など
- ④岡崎市さんと日本工営（株）さんとの QURUWA 戦略における持続可能な移動環境の実現に向けた連携協定書にもとづく取組の進捗状況・効果について教えてください。
  - 日本工営（株）主導で、モビリティサービスの展開を検討している。次年度以降、社会実験の実施を予定している。
- ⑤乙川を中心にしたまちの回遊性について、整備効果（狙って実現したものや予想外の効果・行動など）について教えてください。
  - まちの往来人数が36%上昇、東岡崎駅の乗降客数が7%上昇、路線価が上昇などの効果を把握している。これらの効果が大小の民間投資に繋がっている。
- ⑥コンベンション施設の中止による影響と今後の事業の見通しについて教えてください。
  - 市長が交代し、コンベンション施設の整備が一時ストップしたが、必要性を再検証し、内容を見直して再度動き出したところである。市民の恒常的な交流拠点となるような施設を目指して整備を進めていく予定である。

### 現地見学会の歩行ルートと見学風景

未活用空間への木製ベンチの設置

憩いの空間となっている龍田公園

中央緑道内の魅力的な歩行空間

人道橋として整備された桜城橋

乙川河川敷の歩行空間とライトアップされた桜城橋

最後に参加者全員で集合写真

▲乙川リバーフロント地区公民連携まちづくり基本計画より

## ランドスケープWG

### I. 開催日程等

日 時：令和3年10月28日（木）14:30～16:15

場 所：見学：小幡緑地「オバッタベッタ」ヤネル（BBQ、キャンプ）（愛知県名古屋市）  
講習：マメボシ（レストラン棟）

テーマ：オバッタベッタ（Park-PFI 事業）について

講 師：愛知県都市・交通局都市基盤部公園緑地課 三宅課長補佐

愛知県政策企画局ジブリパーク推進課 岩田課長補佐

中部土木(株) 立入部長

岩間造園(株) 後藤専務

参加者：39名（13社）

### II. 活動概要

現在、愛知県では県営都市公園の魅力向上を図るため、Park-PFI 制度を活用した新たな公園施設の設置及び管理運営が進められています。そこで、今後の公園整備のあり方として、民間活力の導入について見識を深めることができるよう、最新の施設整備事例として、Park-PFI 制度を用いて、今年6月に全施設がリニューアルオープンした小幡緑地の「オバッタベッタ」の見学講習会を開催しました。

講習会では、同事業に携わった愛知県職員の三宅様と岩田様から、事業の経緯、事業者選定時の苦労話、コンサルタントが関わる各立場（検討業務、アドバイザリー業務、事業者側）に応じた経験による助言のほか、整備前後の変化等に関する貴重なお話を頂きました。また、民間事業者として、現在、運営に関わっている立入様と後藤様からは、レストラン運営の経験がない土木系の会社が事業者として参加した背景や命名に込められた思い、官民連携事業における官と民の理想的な関係のあり方などを熱く語って頂きました。

見学会では、バーベキューサイトとキャンプサイトを立入様と後藤様より、軽妙なトークでご案内頂き、既存樹木の活用や施設デザインへのこだわりを説明して頂きました。特に斜面地での排水処理の工夫など、現地ならではの問題点と対処法が確認できました。



【集合写真（レストラン：マメボシ前）】

開設にあたり苦労した点は、建築確認申請のクリアということであり、逆にセールスポイントは個性的な建築デザインとのことでした。確かに公園内とは思えないような素敵なレストランであり、宿泊施設はリピートしたくなるように形状が全て違うとのことでした。また、有能なシェフを確保するための秘策や特定公園施設は全て事業者が出資しているなどの話も聞きました。事業前の現地は相当な藪地だったそうですが、それが手ぶらでキャンプできる空間

に生まれ変わった熱意と努力とアイデアが偲ばれました。事業者からの説明のなかで一気になったのは、この施設の利用者は初めて小幡緑地に来る人が多いとのこと、魅力ある施設を作って新たな客を呼び込む際に、既存の利用者を行うアンケート調査の有効性について疑問があるとの問いかけでした。



【講習会の様子（レストラン：マメボシ）】



【見学会の様子（キャンプサイト：ヤネル）】

開業にあたり苦労した点は、建築確認申請のクリアということであり、逆にセールスポイントは個性的な建築デザインとのことでした。確かに公園内とは思えないような素敵なレストランであり、宿泊施設はリピートしたくなるように形状が全て違うとのことでした。また、有能なシェフを確保するための秘策や特定公園施設は全て事業者が出資しているなどの話も聞きました。事業前の現地は相当な藪地だったそうですが、それが手ぶらでキャンプできる空間

## ●良かった点

### 【講習について】

- Park-PFI の民間企業側、行政側の両方からの苦労話が聞けて良かった。
- 県担当者より、事業の背景やコンサルタントへのアドバイスが聞けたこと。
- 運営者より、事業への参加や管理運営に関する興味深い本音の話が聞けたこと。
- 民間事業者側の生の声が聞けたこと。

### 【見学について】

- 実際に現地を視察することで、空間の雰囲気や配置、質的なものを感じられたこと。
- 現地の地形上の問題点や対処を確認でき、計画・設計上の参考になったこと。
- 現地見学は参加者の印象に残るので、やはりいいですね。コロナの心配がなければ、BBQ や焚火をしながらやりたいぐらいです。

### 【会場について】

- コロナ禍ではあったが、状況が収まりつつあったので、多くの参加者があり盛況であった。
- 会場が会議室ではなくレストランだった点も、カジュアルな感じで良かったです。
- 収益施設内での開催とウエルカムドリンクが良かった。

### 【運営方法について】

- Zoom 配信を活用することで配信希望者には説明が広くいき渡ったこと。
- Zoom 音声、今年もバッチリ機能しましたね。自分のペースで見学しつつ、オフレコ話も聞けて大変良かったと思います。

## ▲改善すべき点

### 【会場について】

- 館内ではマイクを使用していたが、室内が広く多少ざわついていたので、場所によっては説明が聞こえにくい面があった。

### 【見学運営について】

- どうしても人数が多くなると現場での移動や説明がきちんとできない点は残るが、自由に見たい人や興味のあるものが違うため仕方ないと思われる。話を聞きたい人は常に講師の近くに付いていくし、Zoom 利用もしているので良いのではと思われる。
- 外での見学中、Zoom で音声を拾っていたのですが、その聞こえ具合と内容が気になりました。説明されている人の近くにいるようにしたのですが、バラバラ移動するので大事な話を聞き漏らしたり、オフレコ的な話が流れてしまったりとか。
- 強いていえば、現場での質疑応答やディスカッションがもう少しあるとよかったが、現地見学会で個別にやられていた感じもあったので、問題なかったかと思えます。

## ■次年度の活動について

- ランドスケープWGは、社会情勢に応じたタイムリーな最新の事例見学と講演・説明等の組み合わせが望まれる形態であると思われる。
- これまでは行政の方に説明をお願いするケースが多かったが、実際に運営されている民間事業者に話を聞く機会は、具体的に業務の参考になると思われる。

## ■参考 1：これまでの都市計画検討グループにおける活動内容（会員参加型）

### 【委員会全体の講習会・見学会】

- H24：見学会 近江八幡市一水郷巡り、八幡重要伝統的建造物群保存地区
- H25：講習会「エリアマネジメント～街育ての担い手はだれ？」
- H28：講習会「人口減少が進む都市において中心市街地や郊外住宅団地の再生」  
「持続性を確保するにはどのようなまちづくりを進めるべきか」

### 【都市整備WG】

- H23：全体講習会「事前復興計画のススメ…この国の明日を紡ぐ」
- H23：講習会「名古屋港と産業防災」
- H24：見学会「中心市街地の昨日・今日・明日」（愛知県東海市、半田市）
- H25：講習会「リニア中央新幹線と名古屋」
- H25：見学会（交通WGと合同）「公共交通を活用した地域活性化  
及び歴史を活かしたまちづくり視察」（岐阜県恵那市）
- H26：講習会&見学会「伊勢河崎のまちづくり」「三重県防災拠点」（三重県伊勢市）
- H27：講習会「歴史的視点から見た集約型都市構造とは？」（PART1、2）
- H28：講習会&見学会「縮小期のまちづくり（豊川稲荷表参道・御油のマツ並木）」  
（愛知県豊川市豊川稲荷）
- H29：講習会&見学会「錦二丁目まちづくり協議会」（愛知県名古屋市中区）
- H30：講習会「公共空間の有効活用と都市のマネジメント・維持管理のあり方」
- R 1：講習会「スポンジ化した地域の面的再生等へ向けた取組事例」（山形県鶴岡市）
- R 2：講習会「スマートシティとこれからの都市計画：with/post コロナの都市像」
- R 3：講習会「活力のある都市をつくる」（岐阜県岐阜市）

### 【交通WG】

- H23：全体見学会「りんご並木が美しい丘の上のまち飯田」のまちづくりを体感  
（長野県飯田市）
- H24：講習会「自転車利用環境整備を考える」
- H25：見学会（都市整備WGと合同）「公共交通を活用した地域活性化  
及び歴史を活かしたまちづくり視察」（岐阜県恵那市）
- H26：見学会「最新の安全対策技術情報及び施工事例について」（愛知県阿久比町）
- H27：講習会&見学会「四日市市における交通環境の取り組みについて」  
「東海道日永郷土資料館&四日市あすなろう鉄道」（三重県四日市市）
- H28：講習会「ビックデータの活用・可能性と展望」
- H29：講習会「自動運転が創る未来の都市交通のあり方」
- H30：講習会「道の駅をいかしたまちづくり・地域活性化と今後の展望」
- R 1：講習会「住みやすい都市空間デザインのための空間情報分析」（愛知県瀬戸市）
- R 2：講習会「技術者経歴 50 年の歩みと今後への提言」
- R 3：講習会&見学会「岡崎市 QURUWA 地区」（愛知県岡崎市）

### 【ランドスケープWG】

- H23：見学会「土木学会デザイン賞受賞公園の設計コンセプトを学ぶ」（岐阜県各務原市）
- H24：全体講習会&見学会 滋賀県近江八幡市での講習会・見学会
- H24：見学会 H22 講習会講師による愛知県半田市の現地見学会
- H25：見学会「あいちサトラボで里山づくり活動を学ぼう」（愛・地球博記念公園）
- H26：講習会&見学会「花フェスタ記念公園における指定管理者制度の現状と課題」  
（岐阜県可児市）
- H27：講習会&見学会「公園における集客力を高める工夫を学ぶ」（愛知県刈谷市）  
講習会「全国都市緑化あいちフェアはどこまで造れたか」
- H28：講習会&見学会「官民連携による公園の集客力を  
高めた工夫を学ぶ（梅小路公園）」（京都府京都市）
- H29：講習会&見学会「最新事例からランドスケープデザインを学ぶ」  
（草津川跡地公園・ラコリーナ近江八幡）」（滋賀県草津市、近江八幡市）
- H30：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」  
（太田川駅前どんでん広場）」（愛知県東海市）
- R 1：講習会&見学会「具体的事例をとおしてランドスケープデザインを学ぶ」  
（天理駅前広場コフフン、道の駅レスティ唐古・鍵と史跡公園）」（奈良県天理市）
- R 2：講習会&見学会「コロナ禍で、我々が取り組むべきパブリックスペースの  
あり方について学ぶ（Hisaya-odori Park）」（愛知県名古屋市中区）
- R 3：講習会&見学会「小幡緑地 オバッタベッタ・ヤネル」（愛知県名古屋市中区）

## ■参考 2：令和3年度 都市計画検討グループ会員及び各企画参加人数(会社数)

表：令和3年度参加人数一覧表

単位(会員：人、会社：社)

項目	令和2年度		令和3年度		増減 (R2-R3)	
	会員	会社	会員	会社	会員	会社
都市計画検討グループ会員	196	28	234	30	38	2
合同WG(未実施)	-	-	-	-	-	-
都市計画検討グループ総会(WEB)	-	-	98	25	98	25
都市整備WG(WEB)	34	16	52	16	18	0
交通WG(現地見学会)	26	11	15	11	▲11	0
ランドスケープWG(現地見学会)	34	16	39	13	5	▲3
参加数(のべ)	94	43	204	65	110	22

※交通WG及びランドスケープWGは、コロナ禍での現地見学会であったため、人数制限をして開催しました。

## おわりに

会員の皆様のご協力のもと、令和3年度の都市計画検討グループの活動も無事に終わることができ感謝しております。今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、講習会等の活動の可否や開催方法など多くの制約がありました。

しかし、昨年度のコロナ禍での活動で得た知見をもとに、さらに委員会で議論を重ね、円滑に活動を行うことができました。具体的にはWEB形式の講習会やチャットを利用した質疑応答、WEBアンケートを活用したCPDの発行、密を避けるためにZoomを活用した見学会などに取り組みしました。

WEB形式の講習会は、対面に比べ、どこからでも気軽に参加しやすいという意見もあることから、コロナの状況に関わらず、今後もWEB形式の講習会等の改善に努めながら実施していきたいと考えています。

来年度も皆様の要望を踏まえ、「技術研鑽」、「技術者相互の交流」を目的に活動していきます。

令和4年度も、よろしく申し上げます！

都市計画たより 令和3年度版  
発行日：2022年2月15日  
発行者：都市計画委員会